

手足口病は重症化するところも、大人は重症化することも、規則正しい生活で予防を。しかし、疲れをためないように心がけましょう。

手足口病の基礎知識

感染経路

接触感染が多い、感染経路が不明確な場合も

手に接触したものが口や粘膜に触ることによる感染経路が多です。そのほかに、飛沫感染や、便に出されたウイルスが口に入り感染することも考えられます。

感染した場合の対処法

特別な治療法はない、症状がおさまるまで安静に

手足口病には治療法はありません。しかし、安静に過ごしていれば自然に治ります。免疫力が低下している人（妊娠中の人はや赤ちゃんがん治療中の人は）が周囲にいる場合は、ウイルスを移さないよう、接触を避けましょう。

予防法

手洗い・うがい・睡眠で免疫力アップ

免疫力が低下した時に感染しやすいため、手洗い・うがいの徹底を。特に8月、9月に流行するので、夏バテの疲れから手足口病に感染しないよう、睡眠も十分にとりましょう。

Check!

手足口病と似ている病気

○ 内炎

内炎とは、口の中に起きる炎症のことです。唇の内側やほお、口角、舌などに潰瘍や水ぶくれが現れます。炎症は2週間ほどで自然に消えます。

手足口病との違い

違い①症状が出る箇所
手足口病 手足の症状に加え、口の中に症状が出る場合がある。
内炎 手足には症状が出ない。

違い②痛みの程度

手足口病 発疹に痛みを感じることは少ない。
内炎 発疹に痛みを感じることが多い。

掌蹠膿疱症（しょうせきのうほうしょう）

掌蹠膿疱症とは、手のひらや足の裏に、膿を含む水ぶくれができる病気です。水ぶくれがかかるたまに剥がれ落ちると、また水ぶくれができます。

手足口病との違い

違い①症状が続く期間
手足口病 1週間ほど続くが、自然とおさまる。
掌蹠膿疱症 症状が慢性的で、1年以上続くこと。

違い②治療方法

手足口病 治療法・治療薬はない。
掌蹠膿疱症 薬や光線療法などで治療する。

その常識、間違っている！

手足口病のホントのはなし



監修 園茂樹先生

宇部内科小児科医院院長、総合内科専門医、医学博士。1981年日本大学第一内科大学院修士、1984年オランダオランダ州立オントラジオがんセンター留学、那須中央病院内科部長、千代田東方クリニック院長を経て医療、東洋医学にも詳しい総合内科専門医として幅広い診療をモットーとする。

取材協力：ダイバップ株式会社

夏に流行する手足口病。症状の特徴や対処法について、正しい知識を身につけておく必要があります。今回は、総合内科専門医の園茂樹先生に、大人が手足口病に感染した場合の注意点や、似ている病気との違い、予防法などについてお聞きしました。

手足口病 にまつわる 疑問



手足口病だと思っていたら
手足口病ということもある？



手足口病は、一度でも感染すれば
免疫がつくので感染しなくなる？



手足口病は、子どもの病気で
大人は感染しない？

手足口病は、生後6ヶ月～5歳くらいまでの子どもがかかることが多い病気ですが、大人が感染することもあります。
特に、大人の場合には手足に発疹が出るだけでなく、皮がむけたり、強い痛みをともなったり、より重い症状になることがあります。まれに、腹痛や小脳失調症、脳炎といった合併症をともなう場合も。

手足口病は、手足だけではなく口の中に発疹が出る場合があるため、一度、手足口病にかかったとしても、別のどちらのかわからない場合は、手足の状態を確認しましょう。手足にも発疹があれば、手足口病の可能性があります。